

学校関係者向け

(学校の授業の一環として実施するタイプ)

食育体験ツアーに参加した小学校の教諭及び教育関係者による
アンケート回答結果

< 学校 > 1-1 【回答者属性】

地域

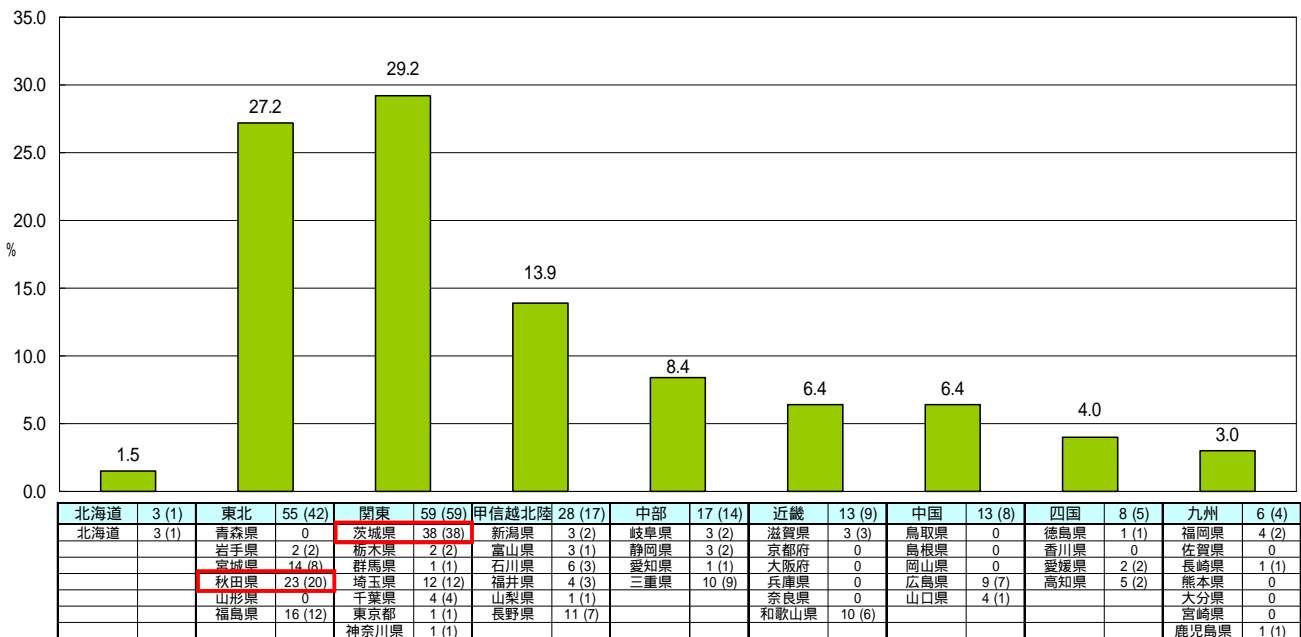
(単一回答)

アンケート回答が得られた小学校の所在都道府県

「関東」(29.2%)と「東北」(27.2%)においてアンケート回答の協力が多く得られた。

「関東」では『茨城県』()、「東北」では『秋田県』、『福島県』でのアンケート回答が多かった。

『茨城県』が目立って多いのは、茨城県に本社を置く(株)カスミが、特に積極的な取り組みを行ったためである。



(回答者数:N) 合計:N=202

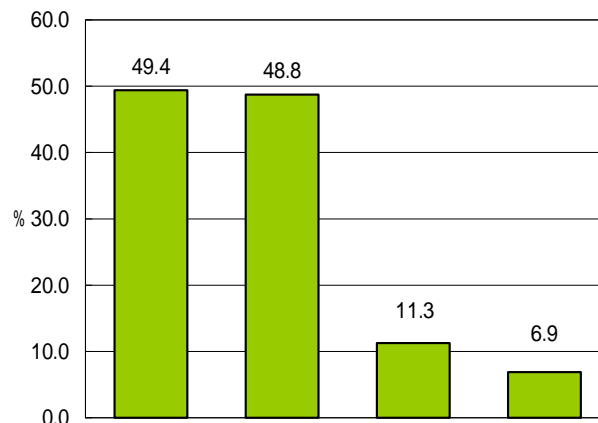
数字隣()内の数字は、回答があった学校のユニーク数(同じ学校から複数のアンケート回答を得た場合でも1校としてカウントしている)

設問：F6

ご所属小学校の所在都道府県

ツアーに参加した授業科目(学年別)

参加した児童の【学年】は、「小学校3年」(76.4%)が大多数を占めている。「小学校3年」では、「社会科」(61.5%)、「総合学習」(50.8%)の授業の一環として参加しているケースが多い。「小学校5年」、「小学校6年」になると「家庭科」の授業として参加している割合が高い。



(科目は複数回答)

回答者数(N)

	合計	社会科	総合学習	家庭科	その他プログラム名
全体(学校)	160	79	78	18	11
小学校1年	0	0	0	0	0
小学校2年	0	0	0	0	0
小学校3年	122	75	62	0	6
小学校4年	3	0	1	0	2
小学校5年	14	0	5	11	0
小学校6年	6	0	2	5	0
複合	11	4	8	2	3
その他	0	0	0	0	0

1つの学校から複数の回答があった場合は、重複を除く一回答分のみを集計。
同一の学校で、違う科目として参加した場合は、両方の科目を集計対象とした。

設問：F9
プログラムの参加対象となっている教科、もしくは、参加対象のプログラム名：
(何の教科の時間としてこのプログラムに参加したかをお答えください。)

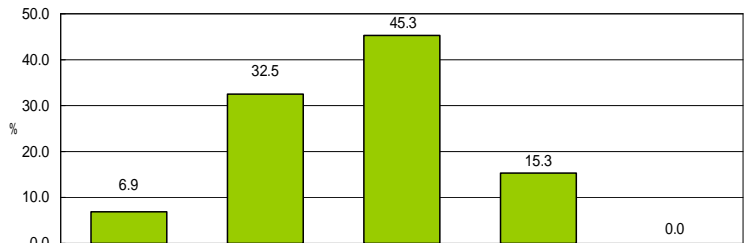
設問：F10
参加された児童の学年：

< 学校 > 1-2 【実態把握】

食事バランスガイドの認知は、「以前から知っていた」割合（45.3%）が最も高く、約半数に認知されている。
 認知経路は、「新聞・雑誌・本」が最も高く、48.9%で、次いで「テレビ・ラジオ」の31.3%となっており、メディアから認知されるケースが多い様子が窺える。
 その他の認知経路としては、講演会やポスター、パンフレットでの告知という回答が見受けられた。

食事バランスガイド 認知度

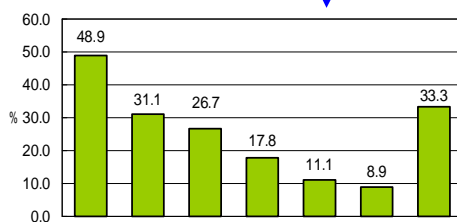
(単一回答)



回答者数 (N)	見たこと・聞いたことがなかった	見たこと・聞いたことはあるが内容は知らない	以前から知っていた	参加して知った	その他
全体(学校)	203	14	66	92	31
北海道	3	1	0	2	0
東北	55	5	13	30	7
関東	59	3	25	21	10
甲信越北陸	28	2	10	14	2
中部	17	0	4	11	2
近畿	13	2	4	2	5
中国	13	0	8	4	1
四国	8	1	0	5	2
九州	6	0	2	2	0

食事バランスガイド 認知経路

(複数回答)



回答者数 (N)	新聞・雑誌・本	テレビ・ラジオ	学校の指導要綱・手引き	今回ツアーに参加したスーパーで見えた	その他のスーパーで見た	インターネット	その他
全体(学校)	90	44	28	24	16	10	8
北海道	2	0	0	2	0	0	1
東北	29	14	8	7	2	2	3
関東	20	8	6	6	5	2	4
甲信越北陸	14	8	4	0	3	3	0
中部	11	6	3	3	4	2	3
近畿	2	2	0	1	0	0	0
中国	4	2	3	2	2	0	1
四国	5	2	2	3	0	1	0
九州	2	1	2	0	0	0	1

その他・回答内容	量販店名
食育インストラクターのため。	COOP
講演会(職員研修)	アップルランド
パンフレット	アトラス秋
他の学校で保護者向けに行った講義に参加した。	アルブラザ平和堂
研修会(食育)	イズミ江
研究会で話題についてなった。	いちやまイツモア
前回ツアー	カスミストア
ヘルスサポーター21人の講義で。	カスミ
昨年度もプログラムに参加した。	グランマート
校内展示ポスター	グランマート
以前に参加した、このプログラムで知った。	スパーク
食育の研修に参加した時に教わった。	ダイイチ
給食指導用として、ポスターなどが学校に送られてきたので。	タイヨー
学校での栄養士による食育指導。	タカヤナギ
レストランにあった説明で。	デリシア
センター研修講座。前年度までの研究。	デリシア
食育推進校で農水省の人を講師に学習した。	ナンコクスーパー
スーパーマーケットに貼ってあった。	ファボーレ
人間ドックで栄養士さんから説明を受けた。	フジグラン重信
お米マイスター出前授業	ベルク
生協活動。農水省、県からのパンフ。	みやぎ生協
生協の委員会活動の中で。	みやぎ生協
講演会など。	みやぎ生協
講演会	ヨークベニマル
昨年度、職場で知った。	ヨークベニマル
栄養士会の研修会。	ヨークベニマル
研修会	原信
大学の講義	生協
前回参加して。	千代田
昨年度も参加した。	未回答

設問：Q1

あなたは、食事バランスガイドをご存知でしたか。

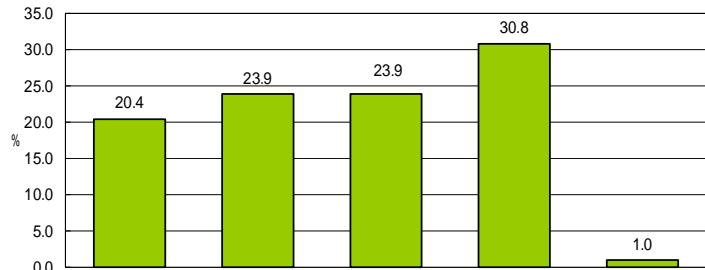
設問：Q2 (Q1で「内容を含め以前から知っていた」と回答した方のみ)
 どのように知りましたか。(いくつでも)

5 A DAYの認知は、「見たこと・聞いたことはあるが内容は知らなかった」+「内容を含め以前から知っていた」割合が47.8%あり、約半数近くに認知されている。

認知経路は、「新聞・雑誌・本」が38.8%あり、最も高い。

5 A DAY 認知度

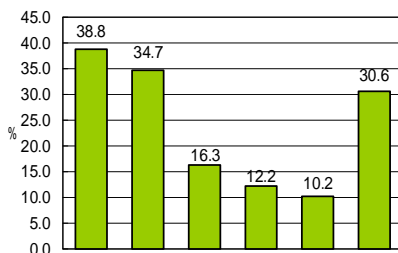
(単一回答)



回答者数 (N)	かかったこと(気づかなかった)	見たこと・聞いたこと(知らない)	見たこと・聞いたこと(知っている)	内容を含め以前から知っていた	当プログラムに参加して知った	その他
全体(学校)	201	41	48	48	62	2
北海道	3	2	0	0	1	0
東北	54	11	12	20	11	0
関東	58	8	18	11	21	0
甲信越北陸	28	4	10	5	9	0
中部	17	4	3	6	4	0
近畿	13	4	1	0	7	1
中国	13	4	3	3	2	1
四国	8	3	0	2	3	0
九州	6	1	1	0	4	0

5 A DAY 認知経路

(複数回答)



回答者数 (N)	新聞・雑誌・本	参加したスーパーで見た	テレビ・ラジオ	その他のスーパーで見た	インターネット	その他
全体(学校)	49	19	17	8	6	15
北海道	0	0	0	0	0	0
東北	20	6	9	4	3	1
関東	12	4	5	1	1	4
甲信越北陸	5	2	0	0	0	3
中部	6	3	2	2	1	2
近畿	0	0	0	0	0	0
中国	3	1	0	0	1	2
四国	2	2	1	1	0	1
九州	0	0	0	0	0	0

その他・回答内容	量販店名
食育インストラクターのため、講演会(職員研修)	COOP
他の学校で保護者向けに行った講義に参加した。	アップルランド
前年度もこの事業に参加した。	アルプラザ平和堂
前回ツアー	イズミ
2年前参加したスーパーで見た。	カスミストア
昨年度に参加して分かった。	グランブルシェ
以前参加した。	グランマート
パンフレット	スパーク
昨年参加した同僚から聞いて。	ファボーレ
講演会など	みやぎ生協
栄養士会関係資料	みやぎ生協
前回参加して、	ヨークベニマル
研修会参加	千代田かずみ店
昨年度も参加して、	ベルク
	未回答

設問：Q3

あなたは、5 A DAYという言葉や内容をご存知でしたか。

設問：Q4 (Q3で「内容を含め以前から知っていた」と回答した方のみ)

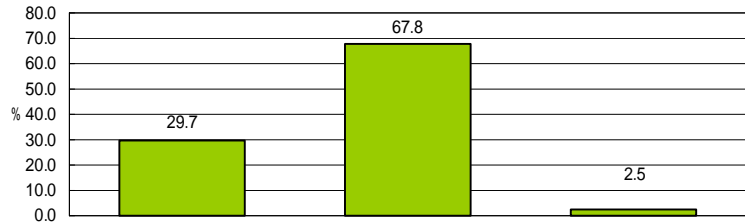
どのように知りましたか。(いくつでも)

野菜摂取・目安量の認知は、摂取量（350g以上）までは知らなかった割合が約7割近く占めている。

摂取目安量を知っている人の認知経路は、「新聞・雑誌・本」（55.0%）が最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」の26.7%となっており、メディアを通じて認知されるケースが多い。

野菜摂取・目安量の認知度

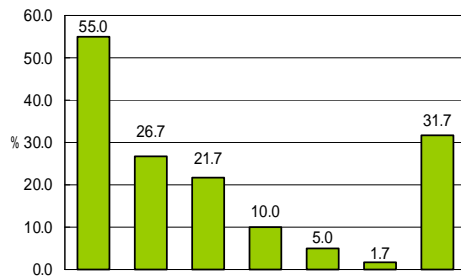
（単一回答）



回答者数 (N)	摂取目安量(350g以上)であると、知っていた		野菜をとったほうがいいとは知っていたが、摂取目安量(350g以上)までは知らなかった		全く知らなかった	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
全体(学校)	202	60	137	67.8	5	2.5
北海道	3	2	1	33.3	0	0
東北	54	16	38	70.4	0	0
関東	59	17	42	71.2	0	0
甲信越北陸	28	7	21	75.0	0	0
中部	17	5	12	70.6	0	0
近畿	13	1	10	76.9	2	15.4
中国	13	5	8	61.5	0	0
四国	8	4	3	37.5	1	12.5
九州	6	2	2	33.3	2	33.3

野菜摂取・目安量の認知経路

（複数回答）



回答者数 (N)	人数	割合 (%)	新聞・雑誌・本	テレビ・ラジオ	学校の手引書	加したスライパー	インターネット	その他のスライパー	その他
全体(学校)	60	33	16	13	6	3	1	19	
北海道	2	0	1	0	0	0	0	1	
東北	16	8	4	4	4	1	0	7	
関東	17	12	3	3	0	0	0	5	
甲信越北陸	7	2	1	1	0	0	0	5	
中部	5	4	1	1	0	2	0	0	
近畿	1	1	1	0	0	0	0	0	
中国	5	2	1	1	0	0	1	1	
四国	4	3	2	3	2	0	0	0	
九州	2	0	2	0	0	0	0	0	

その他・回答内容	量販店名
在学中に習った。	タカヤナギ
講演会(職員研修会)	アップランド
栄養教諭による	アトラス萩店
他の学校で保護者向けに行った講義に参加した。	アルプラザ平和堂
食教育の研究会で学習した。	いちやまイツモア
栄養士さんによる講演で知った。	カスミ
前回ツアーに参加したスーパーで教えていただいた。	グランブルシェ
昨年度に参加して分かった。	グランマート
大学時代の講義。	ダイイチ帯広
パンフレット	ファボーレ
病院のパンフレット。野菜ジュースのバック。	ベルク
野菜ジュースに書いてある。	ベルク
委員会活動(生協)	みやぎ生協
講演会など。	みやぎ生協
仕事上。	ヨークベニマル
栄養士の職業として。	ヨークベニマル
研修会	原信

設問：Q5

あなた自身は、健康のために1日に食べることが望ましい野菜（野菜料理）の目安量をご存知でしたか。

設問：Q6（Q5で「摂取目安量（350g以上）」であると、知っていた」と回答した方のみ）

あなた自身は、摂取目安量について、どのように知りましたか。（いくつでも）

現在の野菜摂取量の充足感は、十分と感じる割合と足りないと感じる割合がほぼ半数となっている。

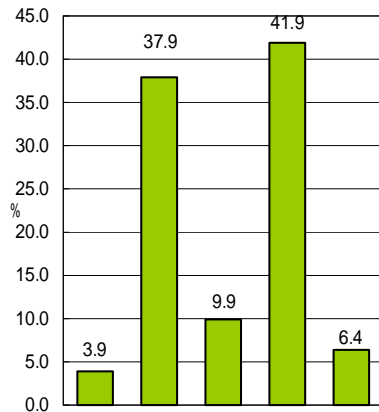
十分と感じる割合 : 「十分」 + 「ほぼ十分」 41.8%

足りないと感じる割合 : 「少し足りない」 + 「かなり足りない」 48.3%

今後の野菜摂取については、「もっと野菜を食べたいと思う（もうすでに実行している）」と回答した割合が6割を超え、すでに野菜を多く摂取している様子が窺える。

野菜摂取量の充足感

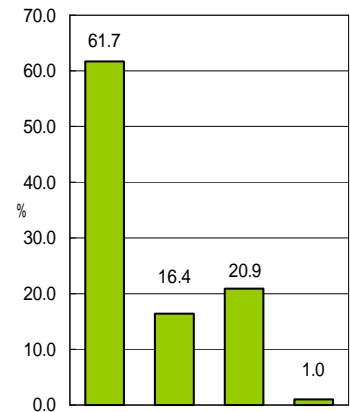
(単一回答)



	十分	ほぼ十分	どちらでもない	少し足りない	かなり足りない
全体(学校)	8	77	20	85	13
北海道	3	0	1	0	2
東北	55	4	21	5	23
関東	59	1	26	5	21
甲信越北陸	28	2	8	2	16
中部	17	1	5	2	8
近畿	13	0	4	1	7
中国	13	0	5	1	6
四国	8	0	5	1	2
九州	6	0	2	2	2

今後の野菜摂取増加の意向

(単一回答)



	思う(もうすでに実行している)	に必ず実行する(1ヶ月以内)	思う(でもいつか行いたい)	思わない
全体(学校)	124	33	42	2
北海道	3	0	3	0
東北	55	37	10	7
関東	58	34	8	16
甲信越北陸	27	16	5	5
中部	17	11	2	4
近畿	13	6	2	5
中国	13	7	5	1
四国	8	8	0	0
九州	6	4	1	1

設問：Q7

あなた自身は、健康のために適切な野菜（野菜料理）を、十分に食べていると思いますか。

設問：Q8

あなた自身も、このプログラムに同行して、もっと野菜（野菜料理）を食べたいと思いませんか。

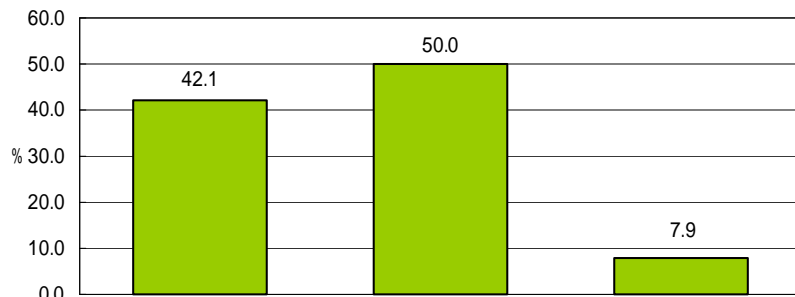
< 学校 > 1-3 【5 A D A Y食育体験ツアー 認知度・効果測定】

5 A D A Y食育体験ツアーを知らなかった割合(57.9%) (「いいえ：知らなかった」+「いいえ：[5ADAY食育体験ツアー]は知らなかったが、他の食育学習なら知っていた」)が6割近くあり、非認知者の方が多い。

5 A D A Y食育体験ツアーの認知経路は、量販店の担当者またはDM、学校関係によるものが多い。

5 A D A Y 食育体験ツアーの認知度

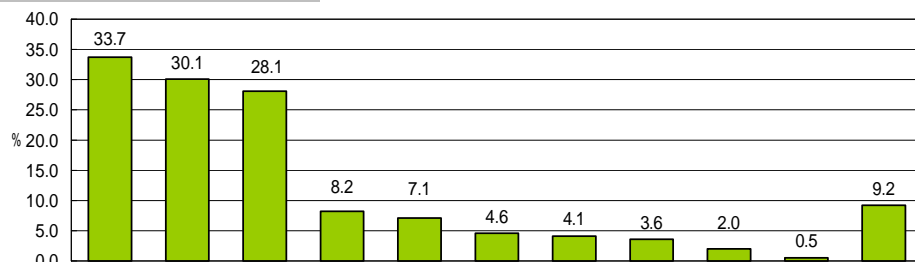
(単一回答)



回答者数 (N)		はい:知っていた	いいえ:知らなかった	いいえ:「5ADAY食育体験ツアー」は知らなかったが、他の食育学習なら知っていた
全体(学校)	202	85	101	16

5 A D A Y 食育体験ツアーの認知経路

(複数回答)



	量販店(スーパーマーケット)の担当者から紹介された	自分の所属する学校関係の研修会や、勉強会等で	量販店(スーパーマーケット)から、紹介・案内の手紙・DM等が送られてきて知った	友人・知人からの情報	量販店(スーパーマーケット)の経由で知った	教育委員会や自治体からの推薦で	新聞・雑誌の記事	この学校に来る前に、参加したことがあるの	「5 A D A Y」のホームページ	その他のホームページ	その他	
全体	196	66	59	55	16	14	9	8	7	4	1	18
北海道	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	52	15	25	10	9	4	5	1	3	4	0	5
関東	59	8	15	33	4	5	1	1	3	0	0	4
甲信越北陸	27	14	8	4	1	1	0	0	0	0	0	3
中部	15	5	2	4	0	0	1	2	1	0	0	2
近畿	13	8	2	2	0	1	0	2	0	0	0	1
中国	13	4	6	0	2	2	0	1	0	0	1	2
四国	7	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
九州	6	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1

設問: Q9

あなたは、今回の「5 A D A Y食育体験ツアー」に参加される前に、「5 A D A Y食育体験ツアー」のことをご存知でしたか。

設問: Q11

あなたは「5 A D A Y食育体験ツアー」をどこで知りましたか。(いくつでも)

【参考資料】自由記述による回答

5 A DAY 食育体験ツアー以外なら知っている食育学習（自由記述）

- ・3 A DAY。 【女性・50代・茨城県】
- ・カルビー主催の食育等。 【女性・40代・広島県】
- ・学校給食による栄養士の食育学習。 【男性・40代・栃木県】
- ・高知市では栄養士さんや大学の先生、食に関して（栄養教諭）の活用など、いろいろあります。
ヘルスマイトの方の活用、明治乳業のクッキング教室。 【女性・50代・高知県】
- ・明治乳業、食育出前ミニ講座。 【女性・50代・富山県】
- ・野菜ソムリエによる地産地消の話。 【女性・40代・愛媛県】

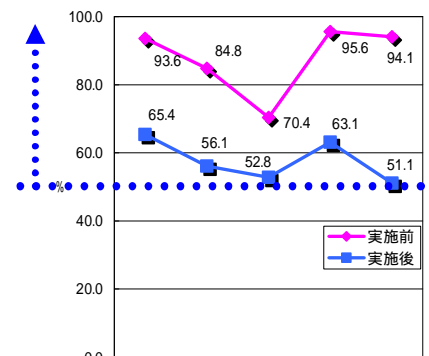
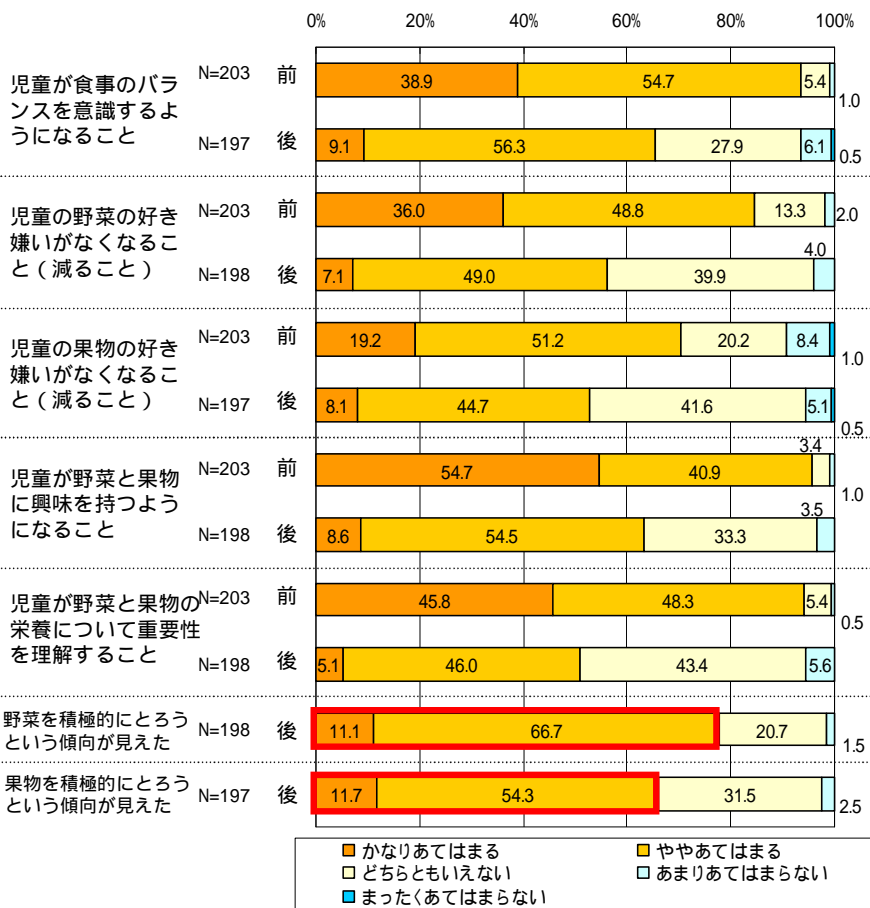
その他・回答内容	量販店名
昨年、この学校が参加したので。	アップルランド
栄養教諭による。	アトラス萩店
学生主任からお話を頂いて。	アルプラザ武生
職場の同僚からの情報。	カスミ
前回ツアー	カスミストアー
前年度も本校で活用させてもらった。	グランマート
2年前に参加した。	スパーク
今回参加して。	スピナ
職員からの口こみで。	タカヤナギワンダーモール
我が子が参加。	デリシア
前年度も参加させていただき、 今年度も引き継ぎがありました。	ベルク
昨年度もこの学校で参加していたので。	マックスバリュ
みやぎ生協のCSR報告書等で知りました。	みやぎ生協
職場で知りました。	ヨークベニマル
昨年度の担任から。	ライフ
前年度、自分の学校で参加していた。	リオンドール
係りの方から。	静鉄ストアー
昨年度の実施内容の打ち合わせの 用紙を見せてもらったから。	平和堂

実施後の効果を見ると、各項目とも「かなりあてはまる」+「ややあてはまる」割合が半数を超え、効果を実感している高さが窺える。
 実施後の児童の行動変化では、野菜や果物を「積極的にとろうという傾向が見えた」で、「かなりあてはまる」+「ややあてはまる」割合が半数を超える。
 半数以上が、ツアー参加後に子どもたちの食生活に変容が見られたと回答している。

実施前(期待)と実施後(効果)の比較

実施前(期待)と実施後(効果)の比較

「かなりあてはまる」+「ややあてはまる」で実施前後を比較



		食事のバランスを意識すること	野菜の好き嫌いがなくなること	果物の好き嫌いがなくなること	野菜と果物に興味を持つこと	野菜と果物の栄養について重要性を理解すること
実施前	(%)	93.6	84.8	70.4	95.6	94.1
実施後	(%)	65.4	56.1	52.8	63.1	51.1
差【実施前-実施後】		28.2	28.7	17.6	32.5	43.0

上記割合(%)は、5択(かなりあてはまる、ややあてはまる、どちらともいえない、あまりあてはまらない、まったくあてはまらない)のうち、「かなりあてはまる」と「ややあてはまる」の割合の合計

設問：Q12

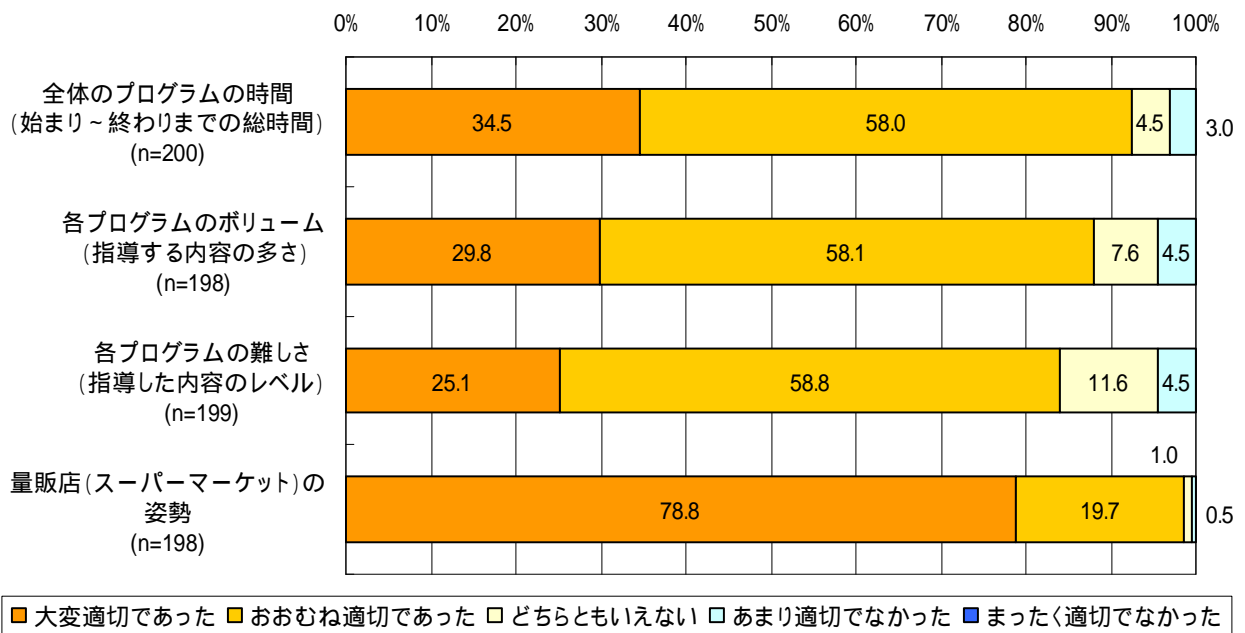
「5 ADAY食育体験ツアー」に参加する前に、児童に対して、どのような効果を期待していましたか。以下のそれぞれの項目についてお答えください。

設問：Q13

「5 ADAY食育体験ツアー」に参加した後、児童に対して、以下の各項目について、当てはまるものをお選びください。

評価 内容

【全体のプログラムの時間】、【各プログラムのボリューム】、【各プログラムの難しさ】はともに「適切であった」（「大変適切であった」＋「おおむね適切であった」）という割合が8割を超え高い評価を得た。
 【量販店の姿勢】は「大変適切であった」という評価が8割近くあり、非常に高い評価であった。

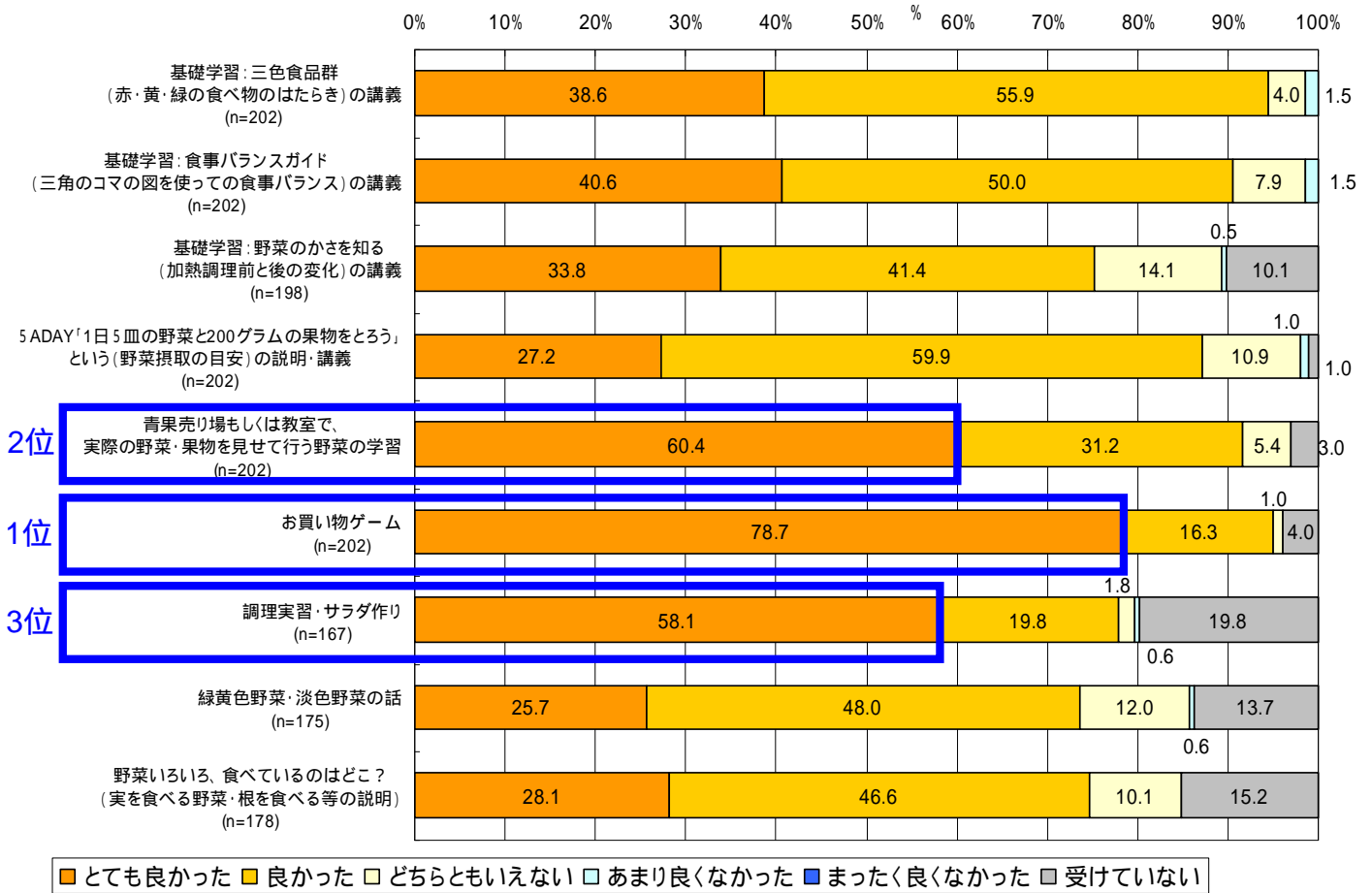


設問：Q14

「5 A DAY 食育体験ツアー」の以下の各内容について、お気持ちに近いものをお選びください。

評価 プログラム内容

「とても良かった」割合が高い上位3項目
 1位：お買い物ゲーム 【78.7%】
 2位：青果売り場もしくは教室で、
 実際の野菜・果物を見せて行う野菜の学習 【60.4%】
 3位：調理実習・サラダ作り 【58.1%】
 売場での体験学習や調理実習など体験系の満足が高い。



設問：Q15

「5ADAY食育体験ツアー」の各プログラム内容はいかがでしたか。指導項目ごとにお答えください。

評価 講師の指導内容

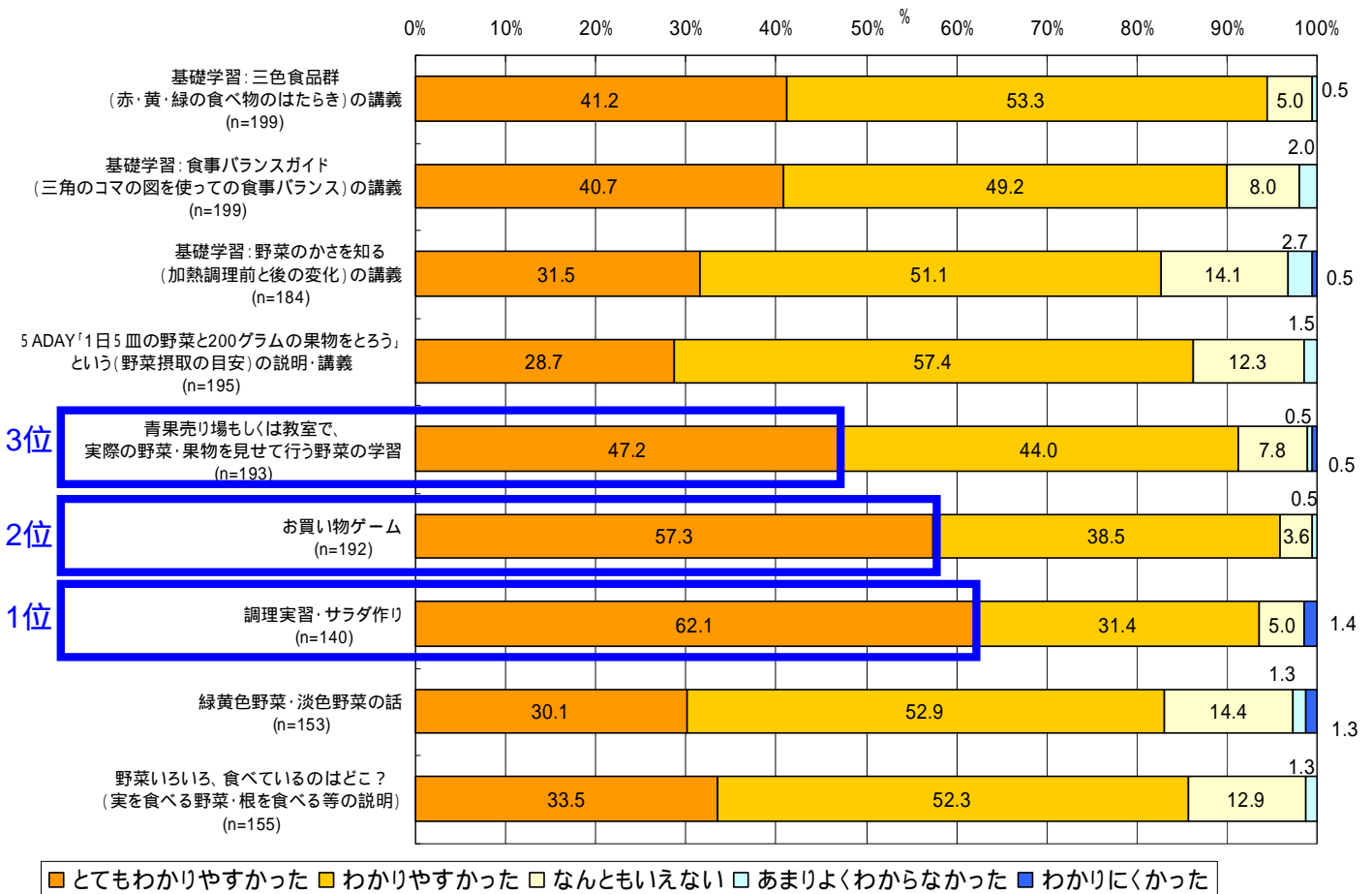
「とてもわかりやすかった」割合が高い上位3項目

1位：調理実習・サラダ作り 【62.1%】

2位：お買い物ゲーム 【57.3%】

3位：青果売り場もしくは教室で、実際の野菜・
果物を見せて行う野菜の学習 【47.2%】

プログラム内容の評価と同様に、体験系の講師の指導内容の評価が高い。



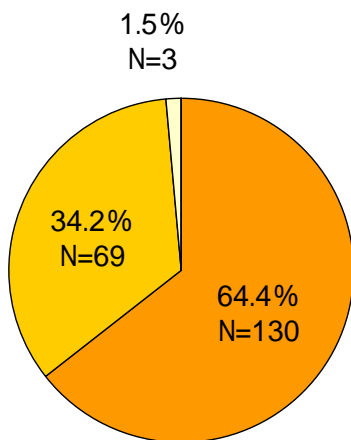
設問：Q16

「5ADAY食育体験ツアー」の講師の以下の各指導内容について、お気持ちに近いものをお選びください。

【総合評価】は、『とても良かった』が6割を超え、高い評価であった。
 【今後の意向】は、『参加してみたいと思う』割合が75.7%と、
 参加意向の高さが窺える。
 【推薦度合】は、『勧めてみたいと思う』割合が6割を超えている。

総合評価 N=202

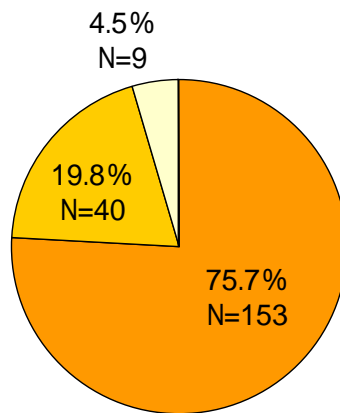
(単一回答)



とても良かった 良かった
 どちらともいえない あまり良くなかった
 全く良くなかった

今後の意向 N=202

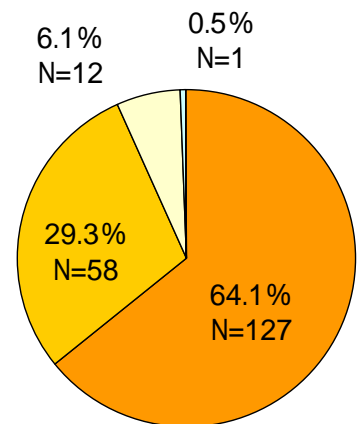
(単一回答)



参加してみたいと思う やや参加してみたいと思う
 どちらともいえない あまり参加してみたいと思わない
 全く参加してみたいと思わない

推薦度合 N=198

(単一回答)



勧めてみたいと思う やや勧めてみたいと思う
 どちらともいえない あまり勧めてみたいと思わない
 全く勧めてみたいと思わない

設問：Q17

「5 ADAY食育体験ツアー」に参加して、総合的によかったですか。

設問：Q18

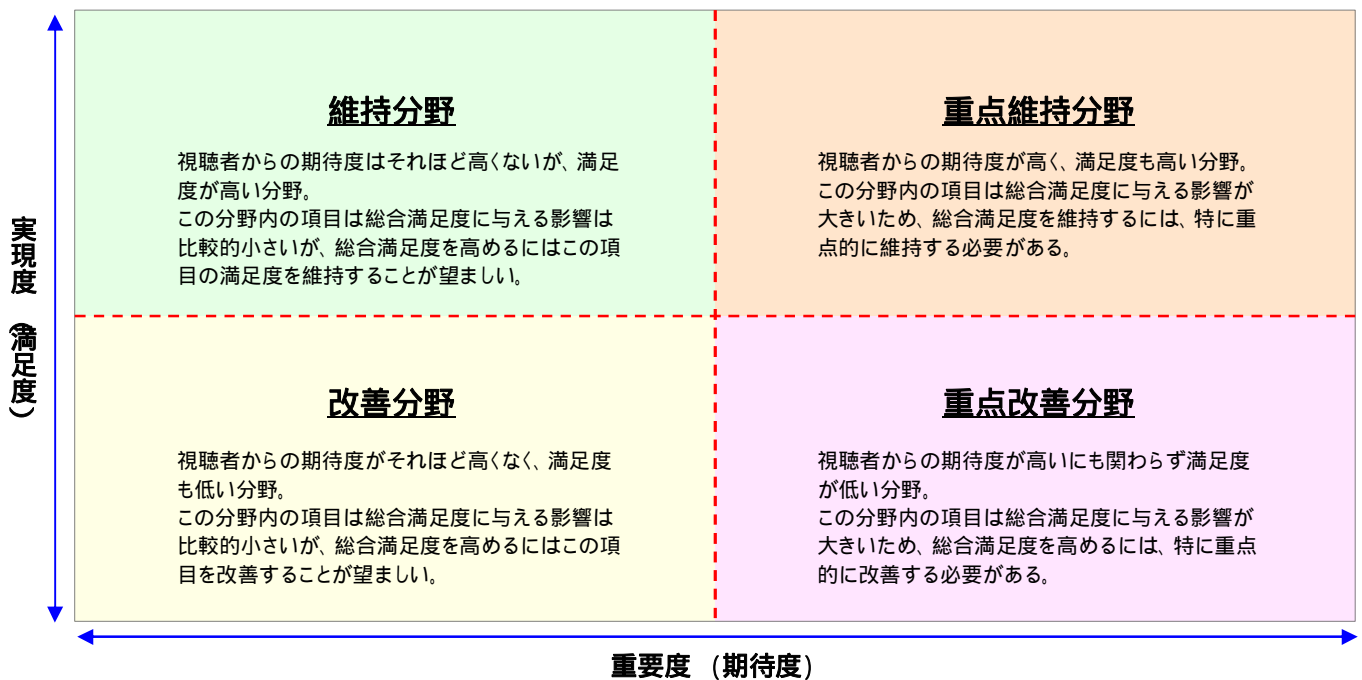
「5 ADAY食育体験ツアー」に参加して、また参加してみたいと思いましたが。

設問：Q20

「5 ADAY食育体験ツアー」に参加して、友人・知人に勧めてみたいと思いましたが。

CSポートフォリオについて

「5 A DAY食育体験ツアー」に対する総合的な満足度と、ツアーでの各プログラム項目の関連性を検証した分析。
横軸に各プログラム項目に対する期待度、縦軸に各プログラム項目に対する満足度(参考度)を配置し、
各平均点により4つの分野(重点維持分野、維持分野、重点改善分野、改善分野)に分割。



【相関係数】・・・重要度(期待度)

総合満足度へ与える影響の大きさを表したもので、
相関係数が高いほど総合満足度へ与える影響も大きくなる。

- | | | | |
|---------|-------------|---------|-----------|
| 0.0~0.2 | ほとんど相関関係がない | 0.2~0.4 | やや相関関係がある |
| 0.4~0.7 | かなり相関関係がある | 0.7~1.0 | 強い相関関係がある |

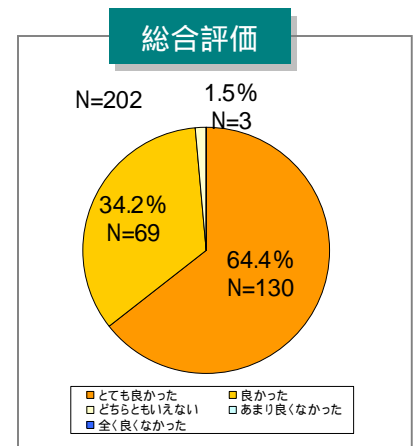
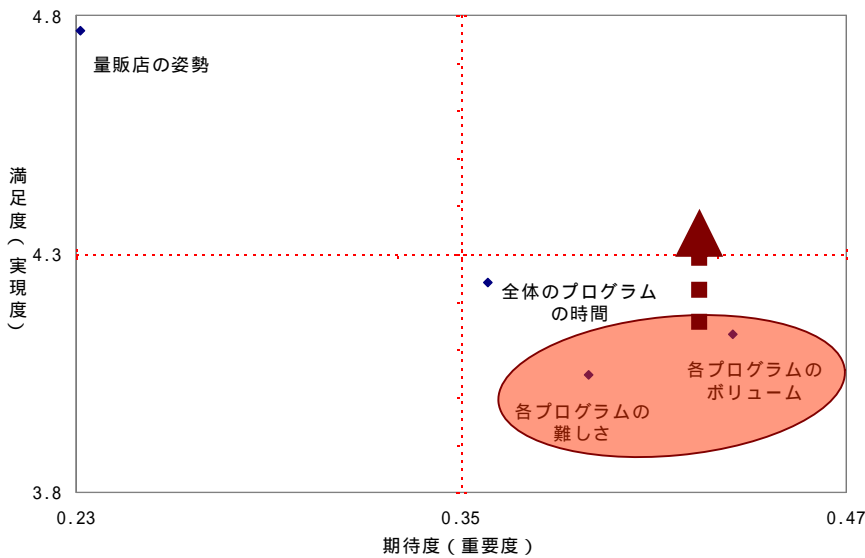
分析（CSポートフォリオ）

5 A DAY食育体験ツアー全体で見ると、プログラムの時間、ボリューム、難しさはいずれも高い評価を得ている（「とても良かった」割合は6割を超える）。一方で、「各プログラムのボリューム」、「各プログラムの難しさ」は、総合満足度へ与える重要度が高くより満足度を高めるための改善項目として挙げられる。

各プログラム内容では、知識系と体験系によって評価が分かれ、満足度は体験系 > 知識系で、体験系のプログラムの評価が高い。

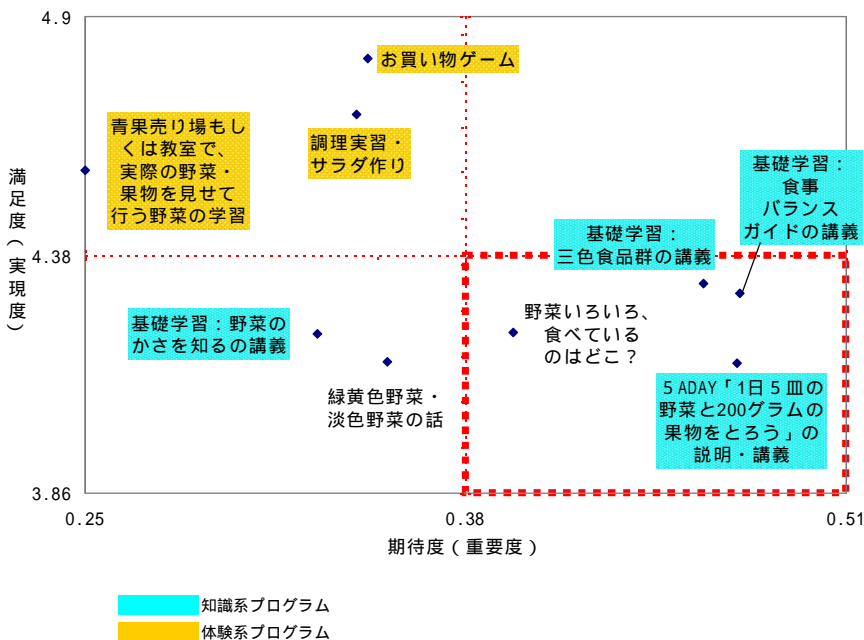
一方で、知識系プログラムは総合満足度へ与える重要度が高く改善項目として挙げられる。

CSポートフォリオ（ツアー全体）



「とても良かった」：5点
 「良かった」：4点
 「どちらともいえない」：3点
 「あまり良くなかった」：2点
 「まったく良くなかった」：1点
 上記のように点数換算し、平均点を算出。

CSポートフォリオ（プログラム内容）



「大変適切であった」：5点
 「おおむね適切であった」：4点
 「どちらともいえない」：3点
 「あまり適切でなかった」：2点
 「まったく適切でなかった」：1点
 上記のように点数換算し、平均点を算出。

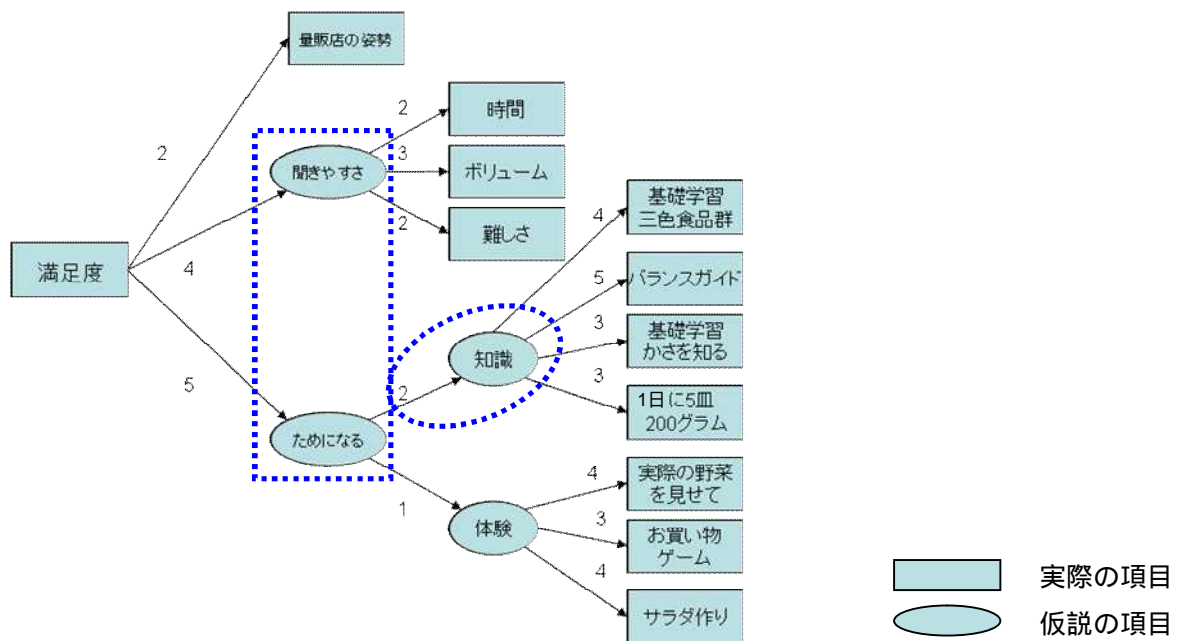
分析（共分散構造分析）

共分散構造分析による5DAYツアーの満足構造

カリキュラムは知識系と体験系では知識系のほうが満足度への影響が大きい。
知識系の充実が課題といえる。

授業が「ためになるか」という視点と同じくらいのウェイトで「聞きやすいか」という視点が重要である。

5DAYツアー 満足構造仮説



量販店の姿勢：量販店（スーパーマーケット）の姿勢

時間：全体のプログラムの時間（始まり～終わりまでの総時間）

ボリューム：各プログラムのボリューム（指導する内容の多さ）

難しさ：各プログラムの難しさ（指導した内容のレベル）

基礎学習 三色食品群：基礎学習：三色食品群（赤・黄・緑の食べ物のはたらき）の講義

バランスガイド：基礎学習：食事バランスガイド（三角のコマの図を使っての食事バランス）の講義

基礎学習 かさを知る：基礎学習：野菜のかさを知る（加熱調理前と後の変化）の講義

1日に5皿 200グラム：5 ADAY「1日5皿の野菜と200グラムの果物をとろう」という（野菜摂取の目安）の説明・講義

実際の野菜を見せて：青果売り場もしくは教室で、実際の野菜・果物を見せて行う野菜の学習

お買い物ゲーム：お買い物ゲーム

サラダ作り：調理実習・サラダ作り

共分散構造分析（構造方程式モデリング）とは、構成概念や観測変数の性質を調べるために集めた多くの観測変数を同時に分析するための統計的方法です。

共分散構造分析では、ある観測変数（上記例の場合；全体満足度）がある潜在変数（プログラム全体の評価[時間や難易度など]や各プログラム個々の評価からどれくらい影響を受けているかを推定することができます。

上記の数字はウェイト（重要度）になります。